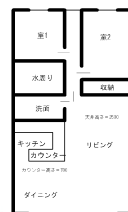


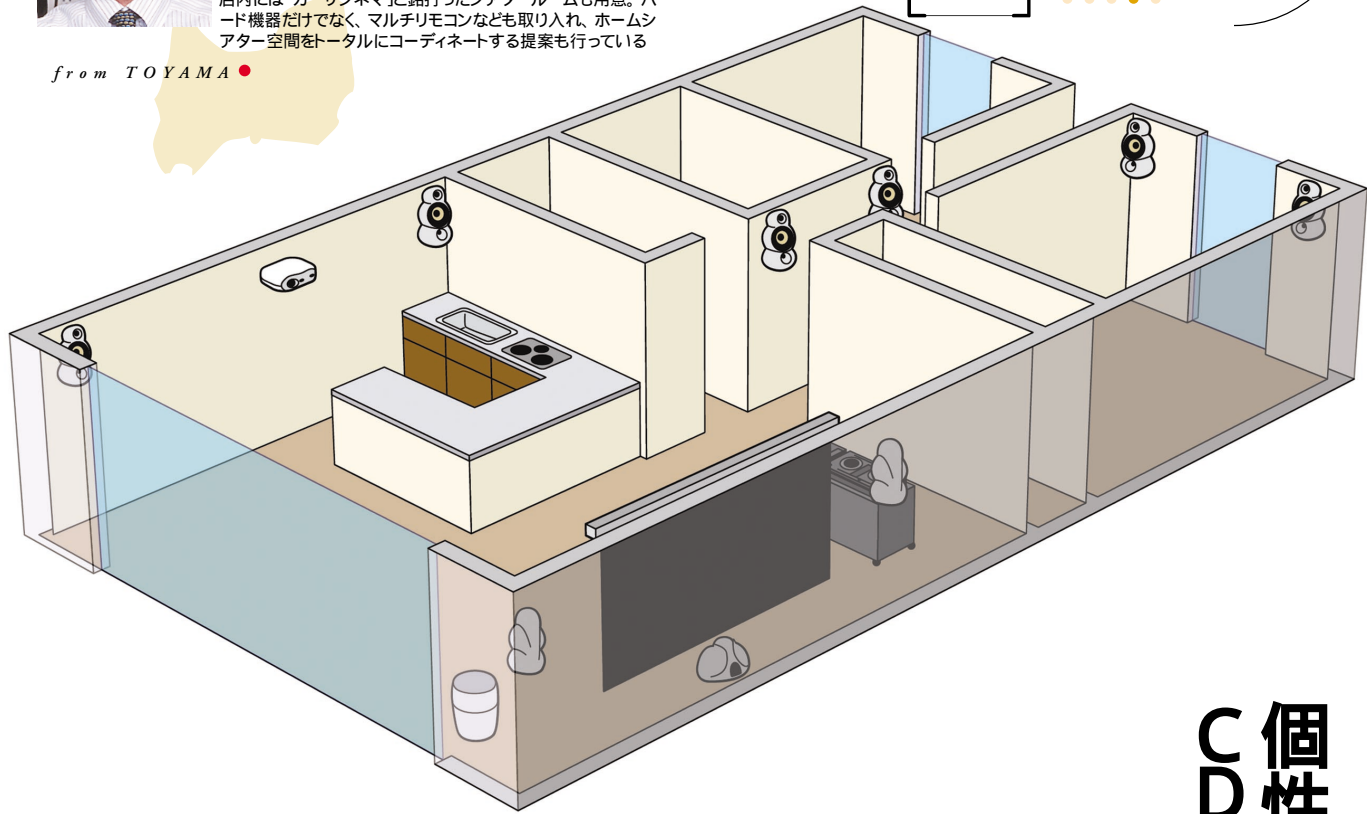
4

TYPE-



クリアーサウンドイマイ富山店
森 義範さん philenumber:384
 富山県富山市赤田775-2
 ☎076-491-1568
 http://www.clearsoundimai.com
 卵形宙つりスピーカー「U-vola」やオーガニックなデザインのスピーカー「BLUE ROOM」など、デザインと高音質を両立しているモデルを積極的にインストールしている森店長。また店内には「カーシネマ」と銘打ったシアタールームも用意。ハード機器だけでなく、マルチリモコンなども取り入れ、ホームシアター空間をトータルにコーディネートする提案も行っている

from TOYAMA ●



個性派スピーカーカーを各所に配置 CDJも活用し、パーティー仕様にも

廊下のスピーカーカーが果たす役割とは？

映画も音楽も大好きで、友人を招いてパーティーをする社交的な方を設定し、色々な楽しみ方のできるように計画しました。

CDJを回しながらスクリーンにBGMを映して音楽を楽しむ。あるいは、スクリーンを入れずに壁を白くして映像を投写する。窓を開けて高層階からの夜景を眺めながら、ダウンライトを落として音楽を流す。パーティーでは多少明かりをつけて

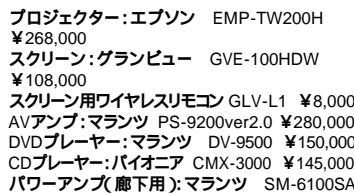
使用機器



DJミキサー:パイオニア DJM-3000 ¥125,000



フロント/リアスピーカー:ブルールーム minipod クラシックエディション(4本) ¥159,600



プロジェクター:エプソン EMP-TW200H ¥268,000
 スクリーン:グランビュ GVE-100HDW ¥108,000
 スクリーン用ワイヤレスリモコン GLV-L1 ¥8,000
 AVアンプ:マランツ PS-9200ver2.0 ¥280,000
 DVDプレーヤー:マランツ DV-9500 ¥150,000
 CDプレーヤー:パイオニア CMX-3000 ¥145,000
 パワーアンプ(廊下用):マランツ SM-6100SA ¥38,000

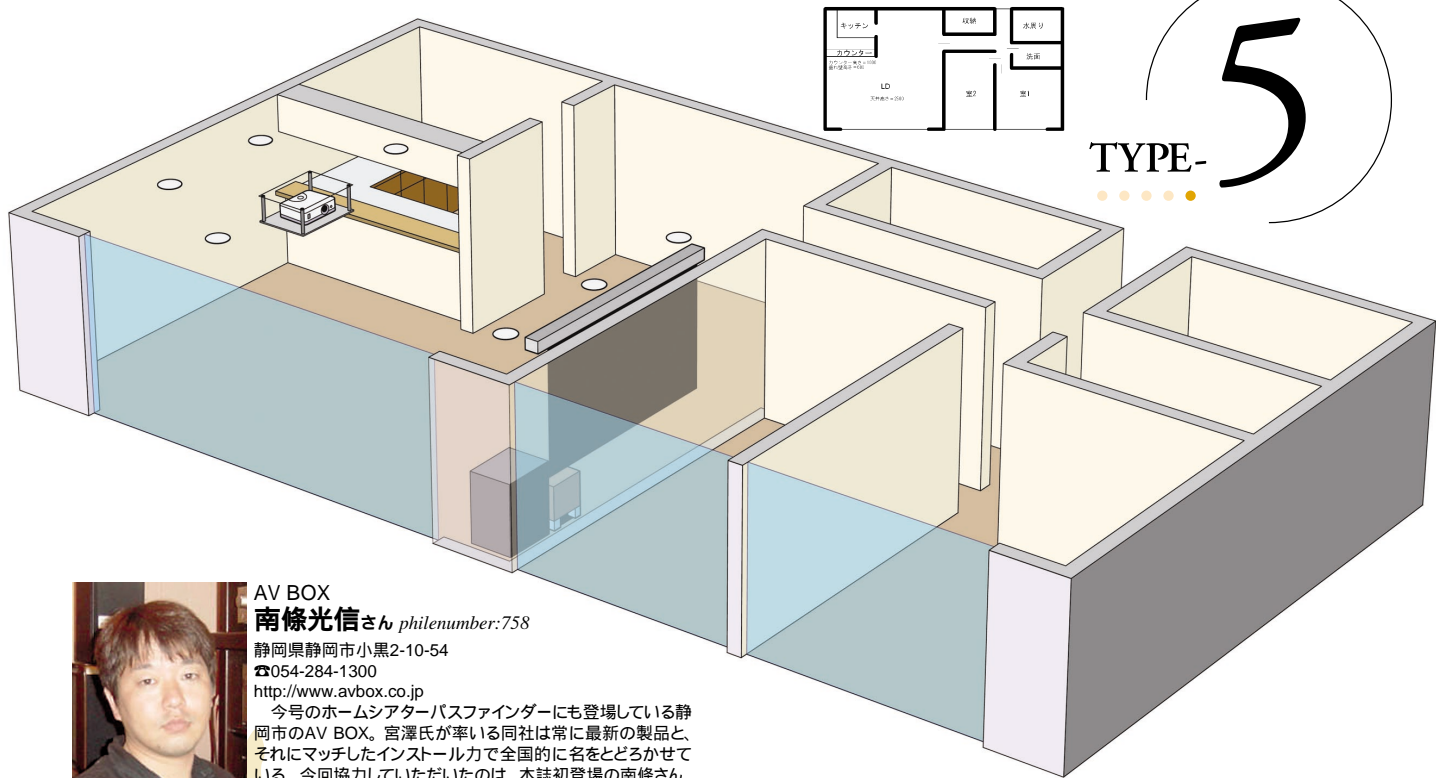
センタースピーカー:ブルールーム cinepodクラシックエディション ¥59,800
 サブウーファー:ブルールーム bass station クラシックエディション ¥109,800
 スピーカー(寝室用):ブルールーム minipod クラシックエディション(2本) ¥79,800
 スピーカー(廊下用):ブルールーム minipod クラシックエディション(2本) ¥79,800
価格合計 ¥1,610,800

の使用が予想されるので、プロジェクトは輝度の高い液晶タイプを選びました。上下左右のレンズシフトが利き、使い勝手もよいモデルです。他の部屋に音楽が配信できるようにZONER2機能を持つマランツPS9200を選びました。マランツには後々ホームオートメーションシステムを組むのに便利な製品もあります。寝室のスピーカーにはマルチゾーン機能を使い、廊下のスピーカーはパワーアンプを追加してミキサーからの出力で鳴らします。廊下のスピーカーは、パ

ーティー等イベント時にメインの部屋へお客様を誘うもの。これは私達で実験もしたんですが、玄関から突然部屋に入っていくより、廊下で同じ音楽が流れていた方が雰囲気はぐんとよくなるんです。BLUEROOMはマランツとよく合いますし、とても個人的な形をしています。お客様からもよく聞きますが、壁にかけるとい意味でインパクトが大きい。隠さずに、見せて楽しむコーディネートができます。CDJプースがあるので、機材はすっきりと収納しました。

5

TYPE-



AV BOX
南條光信さん philenumber:758
 静岡県静岡市小黒2-10-54
 ☎054-284-1300
 http://www.avbox.co.jp
 今号のホームシアターバスファインダーにも登場している静岡市のAV BOX。宮澤氏が率いる同社は常に最新の製品と、それにマッチしたインストール力で全国的に名をとどろかせている。今回協力していただいたのは、本誌初登場の南條さん。同店のインストーラーの中で最年少の氏が導き出すプランとはどのようなものだろうか？

from SHIZUOKA ●

埋め込みスピーカーカーにPJ昇降機。広いリビングに音が充満する7.1ch構成

あくまでリビング空間をさりげなく機器を設置

広いリビングなので、120インチのスクリーン、7.1chのシステムで考えました。機器は、見た目のすっきりしたものを選び、ほとんど隠すような形にしています。あくまでリビングとしての空間であり、たまにシアタールームになるといったイメージです。ごく普通のリビングで良質なホームシアターを楽しめる、というのがこれからのホームシアターの形ではないかと思っています。

使用機器



プロジェクター:ヤマハ LPX-510 ¥500,000



フロント/センター/リア/サラウンドバックスピーカー:スピーカークラブ AIM8 THREE(7本) ¥385,000



サブウーファー:ヤマハ YST-SW1500 ¥105,000

プロジェクター昇降機:OS EE-SH ¥350,000
 スクリーン:OS E1-120WF201 ¥264,800
 AVアンプ:ヤマハ DSP-AX1500 ¥100,000
 DVDレコーダー:シャープ DV-HRD200 ¥OPEN(実売21万円前後)
 マルチリモコン:マランツ RC9200 ¥OPEN(20万円前後)
価格合計 ¥2,114,800

*価格はすべて税抜き定価表示です。またオープン価格や特注品価格は、編集部調べで、あくまでも目安です。今回の提案ショップで必ずその価格で購入できるとは限りません。

リビングだと完全遮光は難しいため、暗くしないときれいな画が出ないDLPプロジェクトではなく、多少の光がある場所でも投写できる液晶でスペックの高いモデルを選びました。スピーカーは普段の生活を考え、すべて天井埋め込みです。なかなか音のよいモデルで、天井にフラットに取り付けます。中で角度を変えられ、視聴ポイントに音を集めることもできます。調整は簡単でお客様にもできますよ。サブウーファーはこのマンションの構造のよさを見込んで、広い空間に合うパ

ワーの高い定番モデル。これらを自動音場補正機能のあるヤマハの新モデルで鳴らします。スクリーンと壁の間のスピーカーは、将来の薄型テレビの設置を考慮してのもです。30cm程度の余裕があれば、ラック・壁掛けのどちらでも対応できます。ソース機器は誰でも簡単に操作できるようHDD/DVDレコーダー・ハイビジョンチューナー一体型を選び、機材を最小限に抑えました。マルチリモコンRC9200を採用すれば、後タクトレストロフなどホームオートメーションにも対応できます。